

# 春休み期間中の生徒達の見守りについて

～事件・事故等の未然防止について～

- ①大麻・エトミデート等違法薬物の乱用は『ダメ！絶対』！
- ②SNS・スマホによる被害・加害が増加中！
- ③生徒のみの外泊は、保護者がしっかり管理を！

- ① 県警察によると、若年者による違法薬物の検挙数が昨年度は過去 10 年で最も多く、その大半は大麻やエトミデートの違法薬物となっています。違法薬物はネットや SNS を通して手に入れることができるため、若年者の乱用に繋がっています。若年者からの薬物乱用は依存性が高くなり、健康被害にも繋がる危険な行為です。保護者・地域・社会全体で子ども達を守るため、薬物乱用は『ダメ！絶対』を徹底しましょう。
- ② SNS・スマホに関する事件や問題行動が増加中です。不適切な使い方をすると、被害者、加害者のどちらにもなります。特に、SNS による誹謗中傷は、命を奪うことにも繋がります。児童生徒の SNS・スマホの使い方について、保護者がしっかり管理をするようにしましょう。
- 《SNS による事件の例》
- ・ SNS で知り合った人からの性被害やわいせつ画像の要求（県外への誘いもあり）
  - ・ SNS での誹謗中傷に対する名誉毀損等の訴え（謝罪を要求された例あり）
  - ・ SNS やメールでの高額当選や利益でだます詐欺行為（少額から継続して要求する手口）
  - ・ ネットゲームの課金による高額な代金の要求（数百万円におよぶ事例あり）
- ③ 高校生のみで格安ホテルに宿泊し、中には飲酒や喫煙等の問題行動が発覚した事案があります。例えば保護者の許可があったとしても、高校生のみでの外泊は問題行動が起きる可能性があるため危険です。これから、年末年始を迎え、長期の休みとなりますが、問題行動を起こさせないためにも、安易に外泊を認めないようにしましょう。

## 問題行動を防ぐために！

春休みを安全・安心に過ごすために、以下の事に注意。

- 深夜はいかいは全ての問題行動に繋がります。
- 飲酒は家庭にある酒類の持ち出しが多い。酒類の管理徹底を！
- 交通事故は起きてから注意しても遅い。普段から注意を！
- 「子どもは親の背中を見て育つ」子どもの見本となる行動を！

## 困ったときは、「相談」する！

### 主な相談機関

24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78316

子ども若者みらい相談プラザ「sorae（ソラエ）」 098-943-5335

波の上こころの相談所（非行防止等） 098-868-4650

沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター #8891または098-975-0166

沖縄いのちの電話 098-888-4343



# エトミデートは危険ドラッグ



沖縄県内において、国内未承認の医薬品成分「エトミデート」(俗称:ゾンビタバコ、笑気麻酔)が含まれる危険ドラッグが乱用される事例が確認されています。

危険ドラッグは、使用がやめられなくなったり、**死亡例**を含む**健康被害**や**異常行動**を引き起こす場合があります、麻薬や覚醒剤等と同様に大変危険な薬物です。



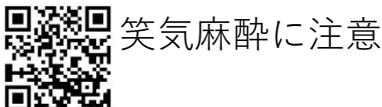
「エトミデート」は、指定薬物に指定されており、所持・使用・販売・流通等が禁止されています。

**3年以下の拘禁刑または300万円以下の罰金**

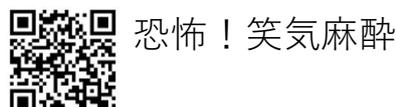
業として行った場合は、

**5年以下の拘禁刑または500万円以下の罰金**

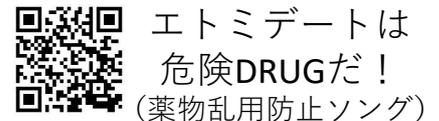
## 危険ドラッグは買わない！使わない！関わらない！



笑気麻酔に注意



恐怖！笑気麻酔



エトミデートは危険DRUGだ！  
(薬物乱用防止ソング)

沖縄県警察少年サポートセンター-098-862-0110 (内線3091、3092)

## 身近な人のアルコール問題で、困っていませんか。

子どもだけでなく、家族や親戚、友達、ご自分の飲酒習慣が心配な方は、早めに専門機関に相談しましょう。以下は、アルコール依存症を4項目で自己チェックするテストです。アルコール依存症は、飲酒のコントロールを喪失してしまう病気で、適切な支援により回復が可能です。

- 1 飲酒量を減らさなければと感じることがありますか？
- 2 飲酒を非難されて気に触ったことがありますか？
- 3 自分の飲酒に後ろめたさを感じたことがありますか？
- 4 神経を落ち着かせたり、二日酔いをなおすために、迎え酒をしたことがありますか？  
(CAGEテスト)

●2つ以上当てはまったら、依存症の可能性があります。専門機関に相談しましょう。

## 子どもの飲酒問題、親自身の飲酒習慣など、悩んだら、相談できる専門家がいます。

●全国のアルコール健康障害に関する相談窓口などが検索できます。(依存症対策全国センター)。右のQRコードからアクセスしてください。



### 保健所・保健センター

各自治体の保健所や市町村の保健センターには、アルコール問題についての相談窓口があります。ご本人や家族からの悩みや相談を受け付けています。くわしくは、お住いの地域の保健所・保健センターにお問い合わせみましょう。

### 精神保健福祉センター

各都道府県や政令指定都市の精神保健福祉センターにもアルコール健康障害についての相談窓口があります。「こころの健康センター」などの名称のところもあります。

### 医療機関

アルコール依存症の専門治療プログラムがある医療機関もあります。保健所や精神保健福祉センターで紹介してもらうことができます。

### 民間団体

アルコール依存症に関する自助グループや支援団体もあります。詳細は各団体のホームページをご覧ください。

- ・(公社)全日本断酒連盟(当事者や家族の自助グループ) 03-3863-1600
- ・AA(アルコホーリクス・アノニマス/当事者の自助グループ) 03-3590-5377
- ・家族の回復ステップ12(家族や友人の支援団体) 090-5150-8773
- ・Al-Anon(アラノン/家族や友人の自助グループ) 045-642-8777

# 子どもにお酒を飲ませてはいけない

~20歳未満の者の飲酒を防ぐために~



飲酒させないために▶

飲酒してしまうと▶

20歳未満の者は、大人や先輩にすすめられて断れずにお酒を飲んでしまうケースが多くあります。保護者がそばにいて断ることができればいいのですが、知らないところで飲まされてしまう場合、どうしたらよいでしょう。ここに、20歳未満の者が飲酒を断る言葉を集めました。20歳未満の方に「飲酒の断り方」を伝える時の参考にしてください。

**飲酒がやめられなくなったら困るので飲みません**

**体が心によくないから飲まないよ**

**大人が子どもにお酒をすすめるのはかっこ悪いよ**

**脳の発達を妨げるんだって**

**事故にあいたくないから飲まない**

**法律で禁止されているよ**

**お酒には興味がないので**

●毅然とした態度をとる

親が「20歳未満の者の飲酒は絶対にいけない」と毅然とした態度をとりましょう。少しなら、正月だからと例外を作ってはけません。



●日頃から「話ができる関係」をつくっておく

子どもが親の言葉を素直に聞くために、ふだんからコミュニケーションをとることが大切です。いつもは話をしないのに、頭ごなしに飲酒を咎めても反発します。言いやすく、子どもが受け入れやすい関係をつくりましょう。



●飲酒がいけない理由を説明する

お酒はコンビニエンスストアなどで簡単に手に入ります。体や脳に悪いから、事故にあわないように、法律違反など、20歳未満の者の飲酒がいけない理由をきちんと説明し、自分自身を守るためと、理解させましょう。



20歳未満の者はアルコール分解能力が未発達で、発達中の脳や生殖器等がダメージを受けます。またアルコールへの耐性がついてしまい、危険な量を飲んだり、習慣的に飲酒するようになりがちです。若さと集団心理と酔いが暴走を招いてしまうことがあります。

**脳や体の成長が妨げられてしまう**  
脳が成長していく時期にお酒を飲むと、脳細胞に悪影響を与え、健全な成長が妨げられる恐れがあります。二次性徴が阻害され、生殖器に害を受けるリスクもあります。

**急性アルコール中毒のリスク**  
20歳未満の者は、アルコール分解能力が未発達です。危険な飲み方をしてしまうことも多く、急性アルコール中毒になるケースが多くなっています。

**なにより法律違反です**  
20歳未満の者の飲酒は法律で禁止されています。親やその代理の者は子どもの飲酒を制止しなければならず、20歳未満の者にお酒を販売することも禁じられています。

**将来アルコール依存症になるリスク**  
15歳以下からお酒を飲み始めた場合、21歳以上から飲み始めた場合に比べ、3倍以上アルコール依存症になる確率が上がるという調査結果があります。

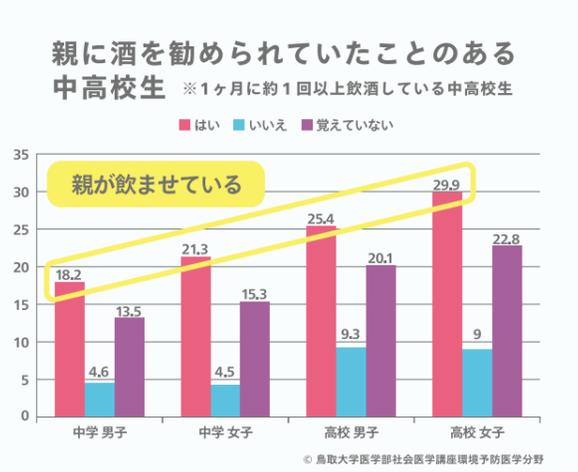
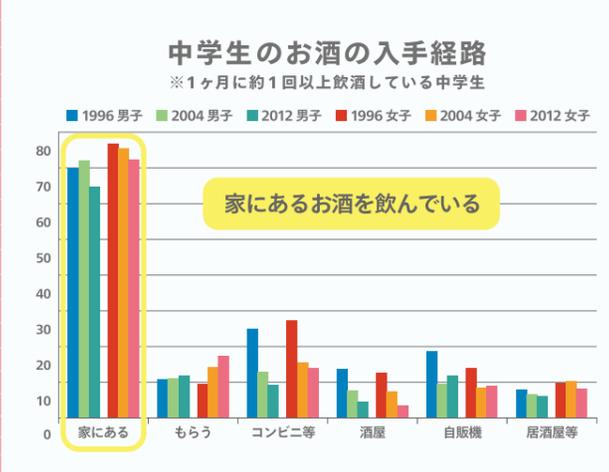
**事故に巻き込まれたり暴力につながってしまうことも**  
20歳未満の者は酔うと理性を抑制しにくくなるとされ、酔って事故にあったり、暴行や傷害など事件を起こしてしまうこともあります。

子どもにお酒を飲ませていませんか

家で子どもに晩酌を付き合わせる、正月など親戚が集まる席で子どもにお酒を勧める。親など大人が子どもにお酒を飲ませています。また、中学生で月に1回以上飲酒している子どもの大半が、「家にある」お酒を飲んでいることもわかっています。

私たち大人の飲酒習慣を見直しましょう

飲酒している中高校生の2~3割が、親に勧められて飲んでおり、女子のほうがその割合は高くなっているという調査結果が出ています。さらに中学生の10年追跡調査によると、18歳の頃に問題飲酒に陥っている人は、中学の時から飲んでいて、友達の誘いを断れない、親に悩みを相談しないなどの傾向があることもわかりました。



## コスモス会とは・・・

コスモス会の名前の由来と想い

子ども達を包み込む保護者を、壮大な宇宙ととらえ、秩序や宇宙という意味を込めた”コスモス”。

一輪だけでは、か細く、折れてしまいそうなコスモスも、密集すると、お互いに支え合い、力強く咲き誇る姿から、「一人で悩んでいる保護者同士が悩みを共有し、支え合える存在になってほしい。」

そんな想いを込め、コスモス会と名付けました。

一歩踏み出す勇気が、あなたの心を支えてくれます。

**一人で悩まず、  
コスモス会に  
参加してみませんか？**

## コスモス会へのご案内

コスモス会とは・・・

子どもの非行等の問題行動について、同じ悩みを持つ保護者同士が、お互いに悩みを共有しながら、解決の糸口を図ることを目的とした自助グループです。

毎月第3木曜日

午後7時～午後8時30分

那覇市旭町バスターミナル向かい

南部合同庁舎5階会議室

あなたの参加を  
お待ちしております。

## 保護者カウンセリング コスモス会

お父さん、お母さん  
大切なお子様のために  
一歩踏み出してみませんか？



沖縄県警察本部  
少年サポートセンター

## 少年サポートセンターの活動

### 1 街頭補導活動

飲酒、喫煙、深夜はいかい等の不良行為少年を早期に発見・補導しています。

### 2 非行防止教室

小・中・高校等に警察官や少年補導職員を派遣し、薬物乱用防止・サイバー犯罪被害防止などの少年の健全育成に関する講話を行っています。

### 3 居場所づくり・立ち直り支援

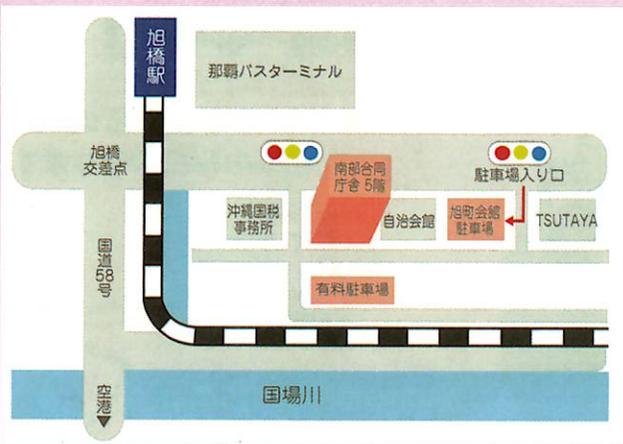
少年の非行防止活動の一環として農業体験、三線教室等の居場所づくりや学習支援等を行っています。

### 4 被害少年支援

犯罪やいじめ等の被害を受けた少年に対し、精神的ダメージの回復や軽減に向け、継続的な支援活動を行っています。

## 少年サポートセンター

住所 沖縄県那覇市旭町116-37  
南部合同庁舎5F



## ヤングテレホン

少年の悩みごとや保護者が抱えている少年問題について相談できるよう

「ヤングテレホン  
(電話による少年相談窓口)」

を設置し、少年や保護者から様々な相談を受け付けています。

☎フリーダイヤル

0120-276-556

一人で悩まずに、  
いつでも、お電話を!



## 警察安全相談

#9110

098-863-9110

## 警察署一覧

那覇警察署	(代) 098-836-0110
豊見城警察署	(代) 098-850-0110
糸満警察署	(代) 098-995-0110
与那原警察署	(代) 098-945-0110
浦添警察署	(代) 098-875-0110
宜野湾警察署	(代) 098-898-0110
沖縄警察署	(代) 098-932-0110
嘉手納警察署	(代) 098-956-0110
うるま警察署	(代) 098-973-0110
石川警察署	(代) 098-964-4110
名護警察署	(代) 0980-52-0110
本部警察署	(代) 0980-47-4110
宮古島警察署	(代) 0980-72-0110
八重山警察署	(代) 0980-82-0110

## 性犯罪被害者相談

098-868-0110

## 沖縄被害者支援ゆいセンター

098-866-7830